

ゲムシタビンの治療を受ける方へ

治療のてびき

監修：庄 雅之 先生

(奈良県立医科大学 消化器・総合外科 教授)

もくじ

はじめに ②

がんと化学療法 ③

ゲムシタビンについて ⑤

主な副作用と対処法 ⑨

治療日記 ⑰



■はじめに

この冊子は、ゲムシタビン点滴静注用「SUN」※（ゲムシタビン）の治療を受ける方に、この薬のことをよく知っていただくため、薬の説明と効果、治療方法、副作用とその対策などについてまとめました。

抗がん剤による治療は副作用が現れやすいため、患者さんご自身でからだの状態を管理することがとても大切です。あらかじめ予想される副作用を知り、対策をたてておけば予防することもできます。また、副作用が現れても早く適切に対処することにより、症状が重くなるのを防げます。

治療を始める前にぜひ、この冊子をお読みいただき、わからないことや、もっと詳しく知りたいことがあれば、担当の医療スタッフにおたずねください。

※ゲムシタビン点滴静注用「SUN」は、ゲムシタビンの商品名です。

■ がんと抗がん剤

私たちのからだは、たくさんの細胞からできています。その細胞の遺伝子が何らかの原因で傷つき、無秩序に増殖するようになったのが、がん細胞で、がん細胞のかたまりを「がん（悪性腫瘍）」といいます。

「がん」はからだのさまざまな臓器や組織に発生し、増殖、浸潤して大きくなるとともに、一部は血液やリンパの流れによって、他の臓器や組織に移動し、全身に広がっていきます。

■ がん化学療法

がんの治療法には手術療法、放射線療法、薬物療法（化学療法、分子標的療法、内分泌療法）などがあります。どの治療法を選択するかは、がんの種類、進行の程度、患者さんの年齢や体力、他の病気があるかなど、患者さんの状態により変わってきます。

がん化学療法とは、抗がん剤を使う治療法のことです。抗がん剤は、体内に広がったがん細胞や、他の場所へ転移しているがん細胞を攻撃するので、全身に広がったがんの有効な治療手段になります。

抗がん剤には、注射剤、内服剤（錠剤、カプセル剤、顆粒剤など）、坐剤などがあります。

■化学療法で副作用が現れる仕組み

抗がん剤はがん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響を及ぼすため、そのダメージがさまざまな副作用となって現れます。

特に抗がん剤の影響を受けやすいのは、活発に増殖する血液細胞や粘膜細胞、毛根の細胞などで、それが白血球減少や貧血、口内炎、吐き気・嘔吐、下痢、脱毛などの副作用として現れます。ただし、副作用の症状や程度は、抗がん剤の種類によって違ってきますし、現れ方には個人差があります。ときには重い副作用が現れることもあるため、慎重に経過観察をする必要があります。

最近では、抗がん剤による副作用の症状をやわらげる治療法（支持療法）が進歩しており、副作用と上手につき合いながら、治療を続けられるようになってきました。



■ ゲムシタビンとは



※写真は中身の入っていない容器を撮影しています。

- 代謝拮抗剤（たいしゃきっこうざい）とよばれる種類の抗がん剤です。
- 世界中で広く使われています。
- 他の抗がん剤や分子標的治療薬と組み合わせて治療に使われることもあります。
- ゲムシタビン点滴静注用「SUN」は、ジェネリックの薬（後発医薬品）です。
- 非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、尿路上皮がん、手術不能又は再発乳がん、がん化学療法後に増悪した卵巣がん、再発または難治性の悪性リンパ腫に対して効果が認められています。

治療方法

- 点滴により投与します。投与にかかる時間は30分くらいです。
- 週1回の投与を3週間続け、4週目はお休みする（休薬）、4週間を一区切り（1コース）とする方法が用いられます。これを何コースか繰り返します。
- 乳がんの場合は週1回の投与を2週続け、3週目はお休みする（休薬）、3週間を一区切り（1コース）とする方法が用いられます。これを何コースか繰り返します。
- 他の抗がん剤や分子標的治療薬と組み合わせて使う場合は、投与方法や投与期間が変わることがあります。

治療方法は、患者さんの状態により変わることがあります。
詳しくは担当の医療スタッフにおたずねください。

■ 治療を受けるときの注意点

治療を始める前

- これまでに薬の治療を受けて、発疹やかゆみなどが出たことがある場合は、あらかじめ担当の医療スタッフに申し出てください。
- 治療に際しては規則正しい食事や、十分な睡眠をとり、体調が良い状態であるように心がけてください。
- 他の科や他の病院で処方されている薬がある場合は、担当の医療スタッフに伝えてください。
- 薬局・薬店で買った薬、健康食品を使用している場合や、民間療法を受けている場合も、担当の医療スタッフに伝えてください。

治療を受けているとき

- 注射部位に痛みやはれがある場合、熱感やかゆみなどの症状がある場合は、すぐに担当の医療スタッフに伝えてください。
- 点滴途中や点滴終了後に息苦しくなったり、吐き気がするなど気分が悪くなった場合は、すぐに担当の医療スタッフに伝えてください。
- 治療中に、他の科や他の病院を受診する場合は、事前に担当の医療スタッフに相談してください。



■ 現れやすい主な副作用



ゲムシタビンの治療によって、いろいろな副作用が現れることがあります。現れやすい副作用は、あらかじめ予防や軽減するための対策がとられます。また、副作用が現れた場合は、症状の程度によってゲムシタビンの量を減らしたり、症状が回復するまで投与を延期（休薬）したりすることがあります。からだに異常を感じたり、いつもと違う症状がある場合には、担当の医療スタッフに相談してください。

<p>自分でわかる 副作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●吐き気・嘔吐 ●食欲不振 ●下痢 ●発熱 ●疲労感 ●呼吸困難 ●発疹 など
<p>検査でわかる 副作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●骨髄抑制 (白血球減少、血小板減少、 貧血：赤血球減少・ヘモグロビン 減少など) ●肝機能障害 ●腎機能障害 ●循環器障害 (心電図の異常)

こつずいよくせい
【骨髄抑制】

血液の成分である白血球、赤血球、血小板などは骨髄でつくられています。薬が骨髄に影響を及ぼし、血液をつくる働きが低下することを骨髄抑制といいます。この副作用は自分ではわかりにくいいため、担当の医師の指示に従い、血液検査を受けましょう。

白血球減少 白血球が少なくなると、からだの抵抗力が弱まり、かぜや肺炎などの感染症にかかりやすくなります。

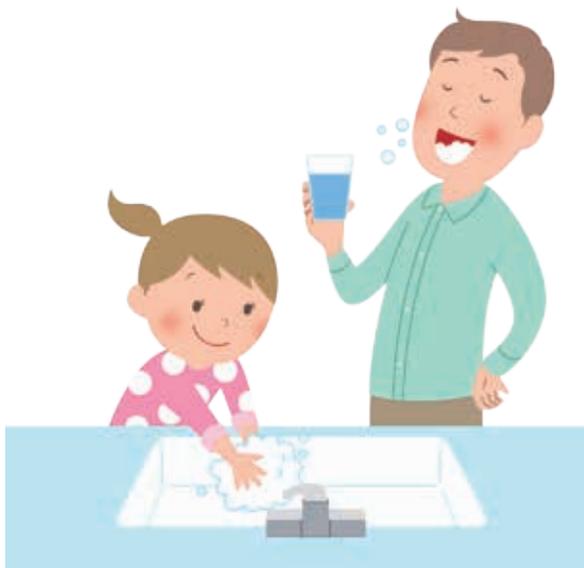
注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

**38℃以上の発熱、さむけ、せき、
のどの痛み、頭痛、だるさ、
リンパ節のはれ、排尿時の痛みなど**

気をつけることって？

- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、マスクや手袋をしましょう。
- 手洗い、うがいをこまめに行いましょう。



血小板減少 血小板が少なくなると出血しやすく、また出血が止まりにくくなります。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

少しのことで出血したり、出血が止まりにくくなる鼻血が出たり、内出血(皮下にあざができる)がおこる

気をつけることって?

- 歯磨きはやわらかいブラシを使い、鼻かみはやさしく行いましょう。
- けがや転倒、打撲に気をつけましょう。

貧血(赤血球減少・ヘモグロビン減少)

赤血球が少なくなったり、ヘモグロビンが減少すると、貧血症状を感じる場合があります。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

めまい、立ちくらみ、動悸・息切れ、疲労・倦怠感、頭が重いなど

気をつけることって?

- 無理をせず、十分な休息と睡眠をとりましょう。
- たんぱく質を多く含む食事などをバランスよくとり、栄養状態を良好に保ちましょう。

吐き気・嘔吐、食欲不振

吐き気や嘔吐、食欲不振などの症状が現れたときは、症状をよわらげる薬がありますので、がまんせず、担当の医師や看護師、薬剤師に相談してください。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

吐き気や嘔吐、食欲不振などが長く続く、
食事や水分がほとんどとれないとき



気をつけることって？

- からだをしめつける衣服はさけましょう。
- 食べられるものを少しずつでも食べましょう。
- 脱水をおこさないよう、水分を十分にとりましょう。

間質性肺炎 ごくまれに、肺の間質という部分に炎症がおこり、肺の機能が低下することがあります。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

せき、息切れ、発熱、胸苦しさなど

気をつけることって?

- せき、息切れ、発熱など、かぜによく似た症状がおこることがあります。かぜをひいたと自分で判断しないで、すぐに担当の医師に連絡しましょう。

発疹 薬の影響をうけて、発疹が現れることがあります。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

全身に発疹ができたときや、それにかゆみを伴うとき

気をつけることって?

- ウールや化学繊維は皮膚を刺激するため、肌に直接ふれないようにする。
- 症状がひどくならないように、刺激の少ない綿の肌着を着る。

発熱 治療の後に、発熱が現れることがあります。解熱剤を渡されている場合には指示どおりに服用してください。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

38℃以上の発熱が長く続く場合や、さむけ、のどの痛み、リンパ節のはれなどがある場合

気をつけることって？

- 38℃以上の発熱は感染症の可能性もあるので、症状には十分注意しましょう。

倦怠感 治療の数日後から「だるい」、「からだが重い」、「疲れやすい」といった疲労感が現れることがあります。その場合には無理をせずに、十分からだを休めるようにしてください。

注意

このような症状が現れたら、担当の医療スタッフに連絡を!

疲労感や倦怠感が長く続く場合

気をつけることって？

- 無理をせず、十分な休息と睡眠をとりましょう。
- 気持ちにゆとりを持つように音楽を聴いたり読書をしたりしましょう。

その他の重大な副作用（頻度不明）

- アナフィラキシー
- 心筋梗塞
- うっ血性心不全
- 肺水腫
- 気管支痙攣
- 成人呼吸促迫症候群（ARDS）
- 腎不全
- 溶血性尿毒症症候群
- 皮膚障害
- 肝機能障害、黄疸
- 白質脳症

注意

この他にも、ゲムシタビン投与中や投与終了後からだに異常を感じたり、いつもと違う症状がある場合には、必ず担当の医療スタッフに相談してください。

治療日記

副作用や気になる症状が現れたら、治療日記に記入しておきましょう。安心して治療を続けるための大切な情報となります。診察日には持参し、担当の医療スタッフに見せましょう。

【記入例】

治療日記 第 1 週目

日付 (月/日)	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
診察日・検査日	○						
薬の投与	ゲムシタビン	○					
からだの状態	体温 (°C)	36.5		37.6	36.9		
	体重 (kg)						
	疲れやすさ	○	△	×	○		
	食事の量			△			
	吐き気・嘔吐	○					
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

治療日記 第 1 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 2 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 3 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 4 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 5 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 6 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 7 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 8 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 9 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第10週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第 11 週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (℃)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

治療日記 第12週目

日付 (月/日)		/	/	/	/	/	/
診察日・検査日							
薬の投与	ゲムシタビン						
からだの状態	体温 (°C)						
	体重 (kg)						
	疲れやすさ						
	食事の量						
	吐き気・嘔吐						
	せき・息切れ						
	発疹						
備考 気づいたこと 困ったこと など							

疲れやすさ: 普通 (○) 少し疲れやすい (△) 疲れやすい (×)
 食事の量: 普通 (○) 少ない (△) 食べられない (×)

医療機関名：

担当医師名：

